

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール佐賀		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内のスペースや部屋が十分に確保されており、部屋ごとに活動を分けているため子どもたちにとってわかりやすい環境を提供することができ、子どもたちが安心して活動に取り組むことができる。	・他の情報(刺激)に左右され、自身のやるべき行動に混乱が生じることが無いよう、活動場所ごとに活動内容が決められている。	・今後も子どもたちの成長や、状況を日々アセスメントしていきながら、一人ひとりに合った環境を提供していきます。
2	・視覚的にわかりやすい環境を設定しており、子どもたちが見通しをもって自立した自発的な行動ができており、混乱することなく成功体験を積み上げることができ自信をもった行動に繋げることができる。	・子ども一人ひとりに、その子に合ったスケジュールを設定しており、「いま何をするのか」「どこでするのか」「次は何をするのか」などを具体的に提示したり、手順書を用いてそれを手掛かりに活動を進めていきながら、自身の行動が自立して行えていることを実感できるようにしている。	・今後も個々の障害特性を十分に把握し、課題やニーズに合わせた環境設定を行いながら、成長や状況に合わせて更新していきます。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報共有が密にできており、相談があった際はその都度時間を設けて対応することができている。また事業所内で出来るようになった活動等は支援ツールをお渡しし、家庭でも取り組めるようにサポートをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・些細な気づきでも受け止めるようにしており、時間を設けて対応できるということを発信している。療育の効果を保護者様が実感できるよう情報を整理して伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな課題だけでなく、日ごろ気になっていること等も気軽に相談できる体制を整え、支援者が余裕を持ち安心して相談できる関係性を一層強化していきます。
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが主体となって地域と交流できるような機会を設けることが出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の人が集まる状況に対して、誰がくるのか・何をすることがわからないことは、子どもたちの不安が大きいことと、どのようなアクシデントが起きるのか支援者としても想定が難しく、参加するにしても制限がでてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が主体となったイベントであれば、環境や状況の予測可能性を高めることができるという観点から、事業所発信のイベントを企画していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流を図ることができるような機会を設けることが出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々で感じられている課題やニーズが違うため個別に対応していたが、それは事業所の主観であり、保護者様の意見として「ほかの保護者と話してみたい」と思われていた方もおられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が交流できる機会を設け、必要に応じて「勉強会」「イベント」等を企画し実施していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で気になったこと以外は、こちらからの情報発信が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有などの連携を促進し、自主的かつ定期的に情報発信をしていながら各機関と連携して支援が出来るように強化してまいります。